

# マイマイガ類ってどんな虫??

マイマイガやカシワマイマイは、1年に1度発生するドクガ科のガの仲間です。周期的に大発生することが知られており、マイマイガ類については、約10年周期で大発生することが知られています。また、一度大発生すると、収束するまでに2～3年かかります。

マイマイガ類は、皮膚炎を引き起こす毒針毛を持つドクガの仲間ではありますが、ふ化したばかりの初齢幼虫を除き、幼虫、成虫は毒針毛は持っていません。『ガ』なので、皮膚の弱い人は、毛虫や鱗粉に触ることによってかぶれることはありますが、その大きさや大量に発生することでの不快感の方が強い虫です。

## マイマイガ類の一生

### 5月

- ◆ 暖くなると、卵塊から幼虫がふ化します。
- ◆ 幼虫の大きさは2～3mmです。
- ◆ 幼虫は糸を吐いてぶら下がるため、「ブランコケムシ」とも呼ばれます。
- ◆ エサがある場所まで風に乗って移動するため、人や洗濯物に付着し、不快に感じます。

ふ化した幼虫



bar = 1 cm

吐いた糸を利用して  
風に乗って移動します

### 6月-7月

- ◆ エサを食べ、大きくなった幼虫は、木々から離れ、建物の外壁を登ることがあります。
- ◆ マイマイガの幼虫は、頭部に「ハ」の字のような模様があります。
- ◆ カシワマイマイの幼虫は、頭部に2本の毛束が生えています。

マイマイガの幼虫



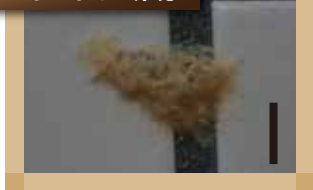
カシワマイマイの幼虫



### 9月 - 翌年の4月

- ◆ 卵塊のまま越冬します。
- ◆ マイマイガの卵塊は、鱗粉で覆われ茶色をしています。
- ◆ カシワマイマイの卵塊は、最初は黄色をしていますが、日にちが経つと灰色になります。

マイマイガの卵塊



カシワマイマイの卵塊



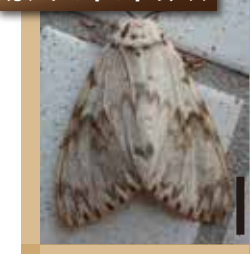
### 7月下旬-8月

- ◆ 成虫が羽化します。
- ◆ 成虫の寿命は、最大10日間で、その間何も食べずに交尾をし、卵を産み付けます。
- ◆ 水銀灯の照明や、その光を反射する白っぽい外壁を好み、日中もその付近にとどまります。

マイマイガのメス



カシワマイマイのメス



# マイマイガ類の対処方法

## 注意

マイマイガ類は、卵から一生を通じて、スズメなどの野鳥のエサになります。高い所等、手の届かない範囲にある卵塊や幼虫、成虫は、無理のない範囲で駆除しましょう。また、除去した卵塊や、幼虫、成虫の死がい、燃やせるごみとして捨てるか、土に埋めて処分しましょう。

## 卵塊 - eggs -

### 実施期間

9月から翌年の5月頃まで

### 対処方法

- ◆ **卵塊の除去が、最も効果的な対処方法です。**
- ◆ 壁を傷つけないよう、あまり先が硬くない平らなもので、こまめに剥がして卵塊を取り除きましょう。

### ペットボトルが便利です!



卵塊の除去の様子

卵塊を産み付ける様子



## 幼虫 - caterpillar -

### 実施期間

5月から7月頃まで

### 対処方法

- ◆ ふ化したばかりで、集団でいる時は、殺虫剤が効きます。また、ガムテープなどに付着させる方法もあります。
- ◆ 大きくなると殺虫剤が効きにくくなるので、箸や火ばさみなどで幼虫をつまむか、幼虫がついている葉を切り落としましょう。
- ◆ つまんだ幼虫は、洗剤を入れた水に入れるとすぐに死にます。

壁を登る幼虫



## 成虫 - moth -

### 実施期間

8月頃

### 対処方法

- ◆ 壁に止まっている成虫は、ホースの水で洗い流して落とすことができます。
- ◆ 殺虫剤は効きにくいので、お勧めしません。
- ◆ 消灯も効果的ですが、防犯面を十分考慮したうえで実施しましょう。
- ◆ **寿命は最大10日間なので、いなくなるまで待ちましょう。**

電信柱に止まっている様子

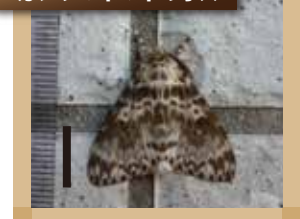


**ご自宅など私有地で発生した場合は、その所有者や管理者などでの対処をお願いします。街路樹など市有地で発生した場合は、その場所の管理者にご相談ください。**

## 薬剤散布時の注意事項

- ◆ 通行人や周辺住民に十分配慮し、周囲に飛散しないようにしましょう。
- ◆ 用法用量を守り、風の弱い日を選んで、できるだけ風上から散布しましょう。
- ◆ 成虫に殺虫剤を使用した場合、鱗粉が舞い上がり、目に入ったり吸い込んでしまうことがあります。マスクやゴーグルなどを着用するとよいでしょう。
- ◆ 野鳥のエサになるので、卵塊や幼虫などに殺虫剤をかけた場合は、取り除きましょう。

カシマイマイのオス



bar = 1 cm